

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2013 SUMMER Vol.84

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



カルタハカタル

瀬井川からたの小径から

INTERVIEW

渡部陽一

特集 将棋 名人戦

EVENT CALENDAR 2013

特集 ロゼ・クラシックカフェ

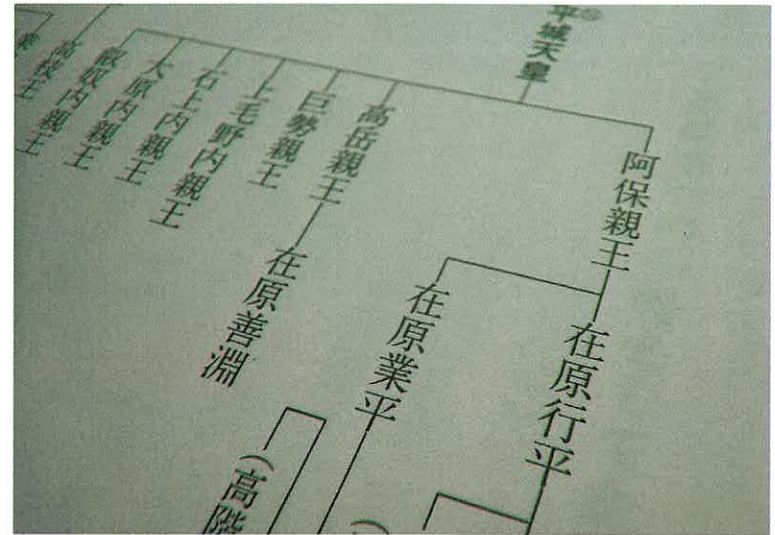
Report

Pick up Artist

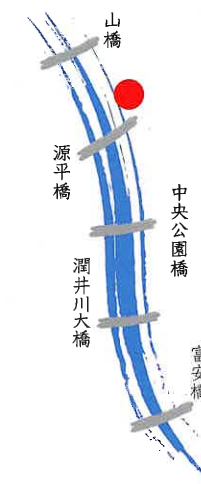
Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE





(訳) 私は、貴方とお別れし、因幡の国に赴きます。
因幡の山に生える松ではないが、私を待つと言ってくれるのなら、やがて私は帰って来よう。
作者、在原行平は「公卿」。今でいうところのキャリア官僚です。天皇に近侍する蔵人や侍従などを歴任した行平、その堅実な仕事ぶりは高く買われていました。ところがある時、山陰の因幡国(現在の鳥取県)への赴任を言い渡されます。都を遠く離れることに、一抹の寂しさを覚える行平でしたが、これも勤め人の宿命と、意を新たに新天地に赴くのです。
もともと行平は、平城天皇を祖父に、阿保親王を父に持つ天皇家の血筋でした。しかし祖父が上皇在位時、実弟である嵯峨天皇と対立、内乱が起こります。上皇が出家すること、事態は一応の収束をみるものの、この事件は後年まで影響を及ぼし、行平ら子息は在原姓を与えられ臣籍降下(皇族が身分を離れて臣民となること)を余儀なくされます。本来ならば皇位継承も望めたかもしれぬ立場でありながら、政争の因果は、行平の人生を揺さぶりました。
なうのプレイボーイとして知られた弟業平とは異なり、兄行平は正直、硬骨な人物だったようです。任地へ向かう際、送別の宴において親しい人々への別れの挨拶として詠まれたという本歌。古今和歌集(巻第八)離別歌にも収められています。



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませています。



在原行平
(ありわらのゆきひら 818~893)
平安時代前期の公卿、歌人。阿保親王の皇子で、業平の異母兄。民政に手腕を発揮。官位は正三位中納言。

Contents

- **カルタハカタル**
潤井川かるたの小径から ①
- **INTERVIEW**
渡部陽一
戦争がなくなればすぐにでも戦場カメラマンをやめて「学校カメラマン」になりたいです。 ②
- **特集** 富士市文化会館20周年記念
第71回名人戦七番勝負 第2局 富士対局
森内俊之名人 対 羽生善治三冠 ⑤
- **EVENT CALENDAR 2013**
平成25年度自主事業
情報先取り! 魅力あるイベント満載! ⑦
- **特集** ロゼ・クラシックカフェ
素顔の大作曲家たち
第2回 いい湯だな〜温泉旅館と音楽家たち ⑨
- **新人音楽家による演奏会**
Rosé Nouveau Concert ⑪
- **Pick up Artist**
富科美穂 ⑫
- **Flash Back**
■ロゼシアター主催事業
2013年2月・3月・4月 ⑬
- **INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE**
◆お知らせ
◆チケット購入方法
◆プレゼントクイズ
◆休演日のお知らせ
◆編集後記 ⑭

INTERVIEW

渡部陽一



ロゼシアター開館20周年記念事業として、富士市出身で戦場カメラマンとして活躍する渡部陽一さんの写真展を開催します。
地元での写真展は初めてということで、仕事に対する考え方、戦地で暮らす人々への想いなどをうかがいました。



ロゼシアター開館20周年記念事業
● **戦場カメラマン渡部陽一写真展**
〜戦場に生きる人たちの声を世界に届けたい〜
■会期: 2013年8月24日(土)~9月1日(日) 10:00~18:00
■会場: 富士市文化会館(ロゼシアター)展示室 [入場無料]

● **渡部陽一講演会**
■2013年8月24日(土)
開場12:30 開演13:00
■ロゼシアター 中ホール

◎応募方法/ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号をお書きの上、次の宛先までご応募ください。
当選ハガキ1枚で座席指定券2枚との引換が可能です。
当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
引換は講演会当日(8月24日)中ホール入口で行います。 ※未就学児入場不可
◎送り先/〒416-0953 富士市藤原町1750番地 ロゼシアター
「渡部陽一講演会観覧希望」係 ※7月23日消印有効
◎お問合わせ/ロゼシアター 0545-60-2500

幼少期は戦場カメラマンになる気は全くありませんでした。実家近くの田子浦港で釣りばかりして、将来は魚博士になりたいと思っていました。大学時代、未だに動物を捕まえて生活する狩猟民族のことを知り、アルバイトで貯めたお金でアフリカのジャングルに飛び込みました。無知だった僕は当時、ツチ族・フツ族の民族紛争であるルワンダ内戦が起っていたことや、訪問地ザイル（現在のコンゴ民主共和国）にも内戦が飛び火していたことをほとんど理解していませんでした。血だらけになった子どもたちが助けを求めてきたり、僕自身が銃を持った少年兵たちに襲撃を受けることがあったりと、理不尽なことが起こっているのに、世界の多くの人はこのことを知らない。泣いている子どもたちの声を多くの人に届けてあげたい、僕でも状況を変えられることになるのではないかと考えました。こうして戦場の生活環境や紛争地域の写真を撮る『戦場カメラマン』になるうと思いました。もう20年くらい前のことです。

毎年取材へ行っていますが、行く先はどのような決めるのでしょうか

世界情勢が大きく動くなか、3つの入り口から取材先を決めます。1つ目は、日本国内で新聞・TV・雑誌・ラジオ・インターネットなどで収集できる国際情勢の情報です。2つ目は、世界中にいる同業者、世界中のフォトジャーナリストや戦場カメラマン、新聞記者の方とこまめに連絡をとりながら、今どのような動きがみられるか、情報収集というよりも井戸端会議的にメールをしながら、アフリカ、アジア、アメリカの状況を掴んでいきます。3つ目は世界中にできた家族のような友人たちです。戦場でなくてもアフリカのケニアや中東・南米など、今まで訪れた国の中で親しくなった方々とスカイプをしたりメールをしたり、国際電話で連絡をとっています。

戦場ではジャーナリストであっても決して安全ではありませんよね

「カメラマンとして怪我せず日本にもどること」取材先で一番大切にしていることです。「危機管理が第1、取材は第2」：現地では過去の経験からくる知識や自分の感覚ではなく、そこで暮らし生まれ育った、その地域のアクセントを使いこなすガイドさんやセキユリティの方の声を聴いたうえで、取材の動き方を考えます。「これ以上先に行つてはいけません」と言われたときは、絶対に行きません。外国人の僕ではわからない、ガイドさんしか感じ取れない危険をキャッチした時には、欲張らずにその場を引きます。引く勇気を持つて取材に当たること、が、今一番気を配っていることです。

経験からくる知識や自分の感覚ではなく、そこで暮らし生まれ育った、その地域のアクセントを使いこなすガイドさんやセキユリティの方の声を聴いたうえで、取材の動き方を考えます。「これ以上先に行つてはいけません」と言われたときは、絶対に行きません。外国人の僕ではわからない、ガイドさんしか感じ取れない危険をキャッチした時には、欲張らずにその場を引きます。引く勇気を持つて取材に当たること、が、今一番気を配っていることです。

界中の学校の子どもの授業風景や遊んでいる様子、給食を食べているところなどを撮影することが夢ですね。歴史を振り返ると、戦争がなくなった時期というのはほとんどありません。で、休戦であったり、一時停戦であったり、少しでも事態が収拾するように1歩1歩カメラマンとして行動していきたいです。

カメラを専門的に勉強したことは

取材先で気を付けていることは何でしょう

取材先ではどの国にも土足で踏み入れないこと。その地域の宗教や民族のルールに沿って、その地域のしきたりにすべて合わせます。するしないの判断基準を僕の方では決してしません。必ずその地域の風習に従うことを心がけています。同じ釜の飯を食へ、同じ土の上で眠り、難民キャンプで共に暮らしながら声を丁寧に拾っていきます。

家で帰りを待つ家族に対して

僕が戦場カメラマンとして仕事を続けられるのは家族がいるからです。妻は出会ったときからずっと僕の仕事を応援し支えてくれていて、戦場に飛び出すとき必ず約束していることが、しつこいほど電話・メール・肉筆の手紙を書くことです。まるで近所にちよっと出かけているような、そんな距離感を感じられるように毎日何度も電話をかけます。もちろん無理をしないことや欲張らないことは鉄則です。声を聴いて話しかけて、いつも繋がっていること、これが妻と約束していることです。

危険を承知で、渡部さんを戦地へ駆り立てるものとは何でしょう

それは戦場で泣いている子どもたちの声を届けた、という気持ちです。今日、中東のシリア、アフリカのスーダン、ナイジェリアや西アフリカのマリでも激しい衝突が続いています。地球上で紛争や悲しい事件が起こっている限り、カメラマンとして現地に飛び込み、子どもたちの声をたくさんの方に届けたいと思っています。戦争がなくならない限りでも戦場カメラマンをやめて「学校カメラマン」になりたいです。世

地元ではどんな子ども時代をすごしたのでしょうか

富士市には18歳までいました。ロゼシアターはまだできていなかったですね。子ども時代は、釣りや剣道に没頭していました。小学校1年生の時から剣道場に通い、早朝から釣りをし、小学校へ行き、帰ってきたら剣道をして、剣道がなければ釣りに行きました。釣った魚をさばって家族で食べたり、魚拓をとったり、釣りと剣道一色だったのです。今でも時間があるときや故郷に戻ったときは釣りをします。気持ちがリセットされ、平常心を保つことができます。海の前でじっと座っている、この時間が好きですね。外国にいる時も取材の合間を縫って釣りをします。魚を釣ることが何よりも好きです。ワクワクドキドキする、子どもの時のあの思い、今でもそのままです。

今回の写真展のポイントとは

日本の私たちがくらす家族の日常と、戦火に生きる家族の日常は同じということを伝えたいと思います。戦場の子どもたちの暮らしも、繰り返される日常の時間というものも実は遠い中東やアフリカも全部同じで、家族の一緒の時間やつながりや想いやりがありまして。遠い国だから全く違う、ではなくて、戦場も日本も同じ生活があるんだというのを伝えたいと思っています。

ありがとうございます。地元での写真展を楽しみにしています。

取材・文／川口直美 撮影／廣瀬貴礼

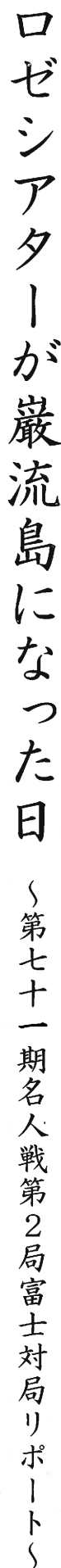
戦争がなくなればすぐにでも 戦場カメラマンをやめて “学校カメラマン”になりたいです。



渡部 陽一（わたなへよういち）プロフィール

学生時代から世界の紛争地域を専門に取材を続ける。戦場の悲劇、そこで暮らす人々の生きた声に耳を傾け、極限の状況に立たされる家族の絆を見据える。単独取材ゆえの長期潜伏取材を得意とする。イラク戦争では米軍従軍（EMBED）取材を経験。これまでの主な取材地はイラク戦争のはかルワンダ内戦、コンボ紛争、チェチェン紛争、ソマリア内戦、アフガニスタン紛争、コロンビア左翼ゲリラ解放戦線、スーダン、ダルフル紛争、パレスチナ紛争など。富士市観光親善大使。





ロゼシアターが巖流島になった日
 第七十一期名人戦第2局富士対局リポート

森内名人の		
		勝

午後五時十八分、森内名人の一〇九手目▲六九歩を見て、羽生三冠が投了した。両者とも持ち時間を二時間以上残しての終局だった。

右ページ写真は本局の棋譜。A4一枚の用紙には、二日間にわたる戦いのすべてが刻まれている。

森内俊之名人、羽生善治三冠、ともに四十二歳。小学生時代からのライバルだ。厳しいプロの道を選んだ二人は、研鑽を積み、いつしかトップ棋士に登り詰めた。これまでの対戦成績は、森内53勝、羽生65勝だが、名人戦に限れば森内20勝、羽生22勝とほぼ互角。名人戦同一カードの最多記録は、大山康晴対升田幸三の9回。今期、森内対羽生はこれに続く8回に迫った。

昨年の第七十期名人戦、インターネット
 動画サイト「ニコニコ動画」で名人位創設
 四百年を記念するプロモーション動画が配
 信されていた。当時の米長会長のコメント
 や、森内、羽生、両氏へのインタビュなどを
 織り交ぜた内容だったが、思わず目をと
 めたのが動画のエンディング。歴史上の名
 勝負と謳われた対決が、テロップで次々と
 現れては消える。はじめに「武蔵 vs 小次郎」、
 次に「武田信玄 vs 上杉謙信」、さらに「巨
 人 vs 阪神」、「力道山 vs 木村政彦」、「A
 猪木 vs G馬場」と続く。「矢吹ジョー vs 力
 石徹」、「アムロ vs シャア」、「悟空 vs ベジ
 タ」とたまたみ掛け、最後に「森内俊之 vs 羽

生善治」がクローズアップされる。可笑しいけれど頷いてしまう。そう、今やこの二人の対決は、(ちょっと大袈裟だけれど)時代を超え、ジャンルを超えた普遍性とポピュラリティを獲得しつつあるのだ。

ゴルフに「マスターズ」や「全英オープン」などのメジャータイトルがあり、競馬に「G1レース」があるように、将棋にもまたタイトル戦がある。これを棋戦という。棋戦には「名人」をはじめ「竜王」「王位」「王座」「棋王」「王将」「棋聖」と七つのタイトルがあり、この中で最も古い歴史と伝統を誇るのが今年七十一期を迎えた「名人戦」だ。名人戦は5年ほど前から開催地を公募で決めている。棋戦の中でも最高峰に位置する名人戦を、将棋文化の普及のみならず、地域振興、まちおこしに役立ててほしいというのが狙いようだ。この企画は功を奏し、全国各地からの呼び声も高い。また「熊本城」「東本願寺」「春日大社」など、今まで考えられなかった会場での開催が実現し、大きな話題を提供している。

ロゼシアターで名人戦招致に向けて準備を始めたのが三年前。劇場型の公立文化施設で、棋戦が行われた例は、あまり多くないだろう。ましてや名人戦だ。これまで様々な舞台芸術公演を手掛け、数多くのアーティストを迎えてきたロゼシアターにとつても、将棋企画の実績はなく、まったくゼロからのスタート。ひとまず開館

20周年にあたる平成25年度の招致実現が目標になった。

今年二月、第七十一期名人戦七番勝負の開催地が発表された。ロゼシアターは第2局。晴れて決戦の舞台に選ばれたのだ。まもなく森内名人への挑戦者に、A級順位戦を制した羽生三冠が決定した。両者の対決は三期連続。ニコニコ動画の言葉を借りるのなら、将棋界の武蔵と小次郎だ。ロゼシアターは、巖流島になったのだ。

四月、名人戦七番勝負が開幕した。初戦を森内名人が勝利し、迎える第2局、いよいよ富士対局だ。世界文化遺産登録が待たれる富士山の麓での決戦に、期待と注目が高まる。勝利の女神はどちらに微笑むのだろうか。

対局にあわせ開催された一般参加イベントには、多くの市民、将棋ファンが詰めかけた。前夜祭では、観光大使かくや姫クイーンが富士市の魅力をアピールし、チアダンスチームC★STARのパフォーマンスに会場は大いに盛り上がった。大盤解説会も初日から予想を上回る盛況ぶり。2日目にあつては、あいにくの雨にもかかわらず朝から多くの方々が足を運んでくれた。館内のレストランでは、両対局者が昼食にオーダーしたという「釜揚げしらすのペペロンチーノ」と「桜海老のトマトソーススパゲティ」に注文が殺到。スタッフは嬉し悲鳴をあげた。また今回、地元の駒

師大澤富月氏製作の駒が対局に使われたことも注目を集めた。大盤解説会の会場となった中ホールロビーには、大澤氏の指導する富士駒・駒つくりの会の作品が多数展示され、匠の技に多くの将棋ファンが唖った。名人戦、さながらライブエンタテインメントである。現代の巖流島は、大勢のギャラリーで沸いていた。

「迄」○九手にて、森内名人の勝ち」

棋譜は勝敗を厳然と示す。前夜祭の賑わいや、大盤解説会の和やかな空気とは対照的な無情の世界がここにある。しかし、富士対局を終え数日が経ち、あらためてこの棋譜を手に取ると、前夜祭から対局までの様々なシーンが鮮明に思い出される。緊張感に満ちた対局室、前夜祭で両対局者に握手を求めるファンの笑顔、大盤解説会で食い入るようにスクリーンを見つめる真剣な眼差し……。

大盤解説会の閉会時、客席から拍手がわき起こったという。両対局者の健闘を称える惜しみない、そして温かな拍手だったそう。

EVENT CALENDAR 2013

9 SEPTEMBER

9/21 土曜日

楽器の魅力シリーズ 栗コーダーカルテット

出演:栗コーダーカルテット
ゲスト/SASAKLA
中ホール 開場/17:30 開演/18:00
●入場料(全席指定) 一般/2,800円 学生/1,000円
※未就学児入場不可
チケット発売日/web: 7月4日(木) 窓口:7月6日(土) 【口】41506



9/22 日曜日

ロゼシアター開館20周年記念
辻井伸行(ピアノ)×アッシュケナージ(指揮)
オーケストラ・アンサンブル金沢 富士公演
～オーケストラ・アンサンブル金沢設立25周年記念特別企画～
大ホール 開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席指定) S席/11,000円 A席/9,000円 学生/4,500円(A席より)
※未就学児入場不可
チケット発売日/web: 7月11日(木) 窓口:7月12日(金) 【口】48370



(C) Yuji Hori (C) Keith Saunders

10 OCTOBER

10/5 土曜日

ロゼシアター開館20周年記念 ミュージカル『I Live Here』

中ホール
●入場料(全席自由) 均一/1,500円 ※未就学児入場不可
チケット発売日/web: 8月7日(水) 窓口: 8月9日(金)

10/6 日曜日

チケット発売日 日本舞踊家集団 弧の会「コノカイズム」

中ホール
公演日/12月21日(土)
開場/14:30 開演/15:00
入場料(全席指定)
1階席/4,800円 2階席/3,800円
学生/1,000円
※未就学児入場不可
【口】48371



10/10 木曜日

10/11 金曜日

10/17 木曜日

チケット発売日 ロゼシアター開館20周年記念 ふじ寄席 落語まつり(全4回) 其の参「桂歌丸独演会」

中ホール
公演日/12月22日(日)
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席指定)
1階席/4,000円 2階席/3,500円
※未就学児入場不可
【口】41768



10/18 金曜日

10/27 日曜日

ロゼフォークブラザ 南こうせつ 伊勢正三 SPECIAL CONCERT 2013～ひめ風!～

出演:南こうせつ、伊勢正三
大ホール
開場/17:30 開演/18:00
●入場料(全席指定) 均一/6,300円
※未就学児入場不可
チケット発売日/web: 7月19日(金) 窓口:7月20日(土)
【口】48386



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
※表示価格は全て消費税が含まれております。

8 AUGUST

8/1 木曜日

ロゼこどもサマースタジアム 夏休みこどもアート展

1階ガレリア

8/11 日曜日

8/2 金曜日

ロゼシアター開館20周年記念 ふじ寄席 落語まつり(全4回) 其の式「三遊亭円楽 林家 たい平 二人会」

中ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定)
1階席/4,000円 2階席/3,500円
※未就学児入場不可
チケット発売中/【口】47533



8/3 土曜日

ロゼこどもサマースタジアム さかなクンのギョギョッとびっくりお魚教室in富士

中ホール
1回目 開場/10:30 開演/11:00
2回目 開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席指定) 均一/1,000円
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料。
チケット発売日/web: 6月20日(木) 窓口: 6月21日(金) 【口】41505



© 2013 ANAN and Tm.

8/8 木曜日

ロゼこどもサマースタジアム ロゼこどもコンサート

協力: 富士クラシック協会
中ホール
1回目(0歳から入場可) 開場/10:30 開演/11:00
2回目(3歳から入場可) 開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席指定・税込) 均一/500円
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料。
チケット発売日/web: 6月13日(木) 窓口: 6月17日(月)



8/17 土曜日

ふじのくに交響楽団 富士 公演

演奏: 静岡交響楽団
大ホール 開場/13:30 開演/14:00
●入場料(全席指定)
一般/2,000円 学生(高校生以下)/500円
※未就学児入場不可
チケット発売中



8/24 土曜日

ロゼシアター開館20周年記念事業 戦場カメラマン 渡部陽一 写真展

～戦場に生きる人たちの声を世界に届けたい～
展示室
10:00～18:00
●入場無料

9/1 日曜日

8/24 土曜日

渡部陽一講演会

中ホール
開場/12:30 開演/13:00
●入場無料(要入場券)
※入場券のお申込み方法は、ロゼシアターホームページをご覧ください。



9 SEPTEMBER

9/15 日曜日

ドキドキ!プリキュアミュージカルショー

大ホール
1回目 開場/9:30 開演/10:00
2回目 開場/13:00 開演/13:30
●入場料(全席指定) 均一/3,000円
チケット発売日/web: 6月29日(土) 窓口: 7月2日(火)



©ABC・東映アニメーション

7 JULY

7/3 水曜日

松竹大歌舞伎 市川亀治郎改め四代目市川猿之助襲名披露

演目:一、歌舞伎十八番の内 毛抜
二、四代目市川猿之助襲名披露 口上
三、三代猿之助四十八撰の内 義経千本桜 川連法眼館の場
中ホール ※夜の部は毛抜と義経千本桜を入れ替えて上演致します。
昼の部 開場/11:30 開演/12:00
夜の部 開場/16:30 開演/17:00
●入場料(全席指定) 1階席/7,000円 2階席/6,000円 学生/1,000円
※未就学児入場不可
チケット発売中



7/5 金曜日

ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート

演奏: 静岡交響楽団
大ホール
午後の部 開場/13:15 開演/14:00
●入場料(全席指定) 均一/500円
※未就学児入場不可
★午後の部のみ、2階席(約80席)の販売となります。
※詳しくはロゼシアターホームページをご覧ください。



7/11 木曜日

ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート

指揮: 梅田俊明
演奏: 新日本フィルハーモニー交響楽団
大ホール
午前の部 開場/9:15 開演/10:00
午後の部 開場/12:45 開演/13:30
●入場料(全席指定) 均一/500円
※未就学児入場不可
★午前の部、午後の部、2階席(各回約80席)の販売となります。
※詳しくはロゼシアターホームページをご覧ください。



7/18 木曜日

鈴木雅之 masayuki suzuki taste of martini tour 2013 ～Open Sesame～

大ホール
開場/18:30 開演/19:00
●入場料(全席指定) 均一/7,000円(当日券7,500円)
※3歳未満入場不可、3歳以上チケット必要。
チケット発売中/【口】46224



7/25 木曜日

ロゼこどもサマースタジアム ホール探検隊

大ホール
※詳しくはロゼシアターホームページをご覧ください。



7/26 金曜日

7/30 火曜日

ロゼこどもサマースタジアム 創作紙人形多賀紙人形展

4階和室
10:00～18:00
●入場無料



8/4 日曜日

7/31 水曜日

ロゼこどもサマースタジアム スタンプラリー

4階会議室ほか
10:00～14:00(スタート13:30まで)
●参加無料





素顔の大作作曲家たち 第2回 いい湯だな！温泉旅情と音楽家たち

ヨーロッパは温泉大国？



(写真1) ベートーヴェンの肖像

世界有数の温泉国「ドイツ」。日本の人情味とあまりにも深く結びついているために、温泉はつい日本の風物詩と思われがちですが、おなじみのことば「スパ」の語源がベルギーの温泉街スパからきているように、実は、ヨーロッパも多彩な温泉街をもつ温泉王国なのです。ということも、きくと温泉好きな作曲家も多かったはず。もし、あの楽聖ベートーヴェン(写真1)が、温泉好きだったとしたら、気難しそうな巨匠が、浴衣を着て、手ぬぐいを片手に、下駄をカランコロン鳴らして鼻歌を口ずさみながら温泉街を歩く、なんて想像するだけでも楽しくありませんか？今回は、ヨーロッパの温泉地を舞台に繰り広げられる、3人の作曲家の物語です。

風光明媚な温泉保養地！ カルロヴィ・ヴァリ

東欧のバリといわれる古都ブラハから、西に約110キロ。深い山々に囲まれた懷に、こんな山間に？と目を疑うほどおしゃれな建物が並ぶ、美しい温泉街があります。それが、東欧を代表する湯治場カルロヴィ・ヴァリ(ドイツ語名「カールスバート」)です(写真2)。14世紀の神聖ローマ帝国の皇帝カール4世のお墨付き「カールの湯」が、街の名になったという由緒正しき名湯です。

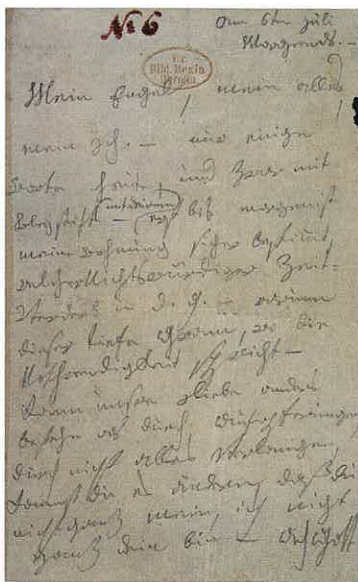


(写真2) 19世紀のカルロヴィ・ヴァリ

ドイツが生んだ文豪ゲーテは、「自分が住むことのできる場所は、ヴァイマルとローマと、カルロヴィ・ヴァリだけである」と書くほど、この温泉街をこよなく愛しました。カルロヴィ・ヴァリの近くには、いくつもの温泉街が点在していますが、そのひとつテプリツで、1812年、62歳のゲーテと42歳のベートーヴェンは、「詩と音楽のふたつの星の、千年に一度の出会い(ロマン・ロラン)」といわれる劇的な出会いをはたします。そのときの印象を、ゲーテはのちに「わたしはこれまで、これほど強い集中力を持ち、これほどエネルギーギンで、また内面的な芸術家を見たことがない」と語っています。

温泉街湯けむりサスペンス？ ベートーヴェンと不滅の恋人

西洋音楽史上、最高のミステリーといえ、ベートーヴェンと「不滅の恋人」にまつわる謎でしょう。ベートーヴェンの死後、秘密の引き出しから発見された二通の手紙(写真3)。「わたしの天使、わたしのすべて、わたし自身よ」という、謎めいたことばではじまる、宛名のないこの恋文は、はたして誰に向けて書かれたのか？これが、世界中の研究者を巻き



(写真3) 不滅の恋人への手紙 最初のページ

込む大推理活劇となったのです。そして、記載された曜日から、手紙が書かれた場所が明らかになります。それは、何と、ウィーンからはるか遠く離れた、テプリツの温泉街から、近くのカルロヴィ・ヴァリに滞在する謎の恋人に宛てて、ベートーヴェンが書いたものだったのです。この「不滅の恋人ミステリー」の舞台が、いかにも旅情をそそる湯けむりの温泉街だったとは、まるで火曜サスペンスみたいではありませんか？さて、この謎の相手ですが、最新の説によれば、アントニア・プレントナー(写真4)という貴族出身の女性が一番有力といわれています。興味がある方は、色々な書籍がありますので、ぜひ読んでみてください。こんなところから、クラシック音楽の世界に親しんでみるのも、おもしろいと思います。



(写真4) アントニア・プレントナーの肖像

音楽の世界に親しんでみるのも、おもしろいと思います。

温泉街での涙の再会！ ショパンと祖国の両親

美しい温泉街が、涙、涙の再会劇の舞台となったこともあり、20歳で祖国ポーランドを捨て、フランスに亡命したショパン(写真5)。彼は39歳で亡くなるまで、二度と祖国の土を踏むことはありませんでしたが、たった一度だけ両親と再会することができました。その舞台となったのが、カルロヴィ・ヴァリです。医者の勧めで温泉療養の旅に出るという両親の知らせを耳にしたショパンは、ふたりを密かに訪ねて驚かそうと、パリから急いで駅馬車に乗り込みます。両親の到着予定日と同じ日に着いて街中のホテルを探したものの、湯治客名簿にまだ両親の名前はなく、ようやく翌朝会うことができました。そのようこびを、彼はワルシャワの家族宛ての手紙にこう書いています。



(写真5) ショパンの肖像

ショパンと両親は、カルロヴィ・ヴァリの「金のバラ」というホテルに部屋を確保し、この温泉街で約1か月をともに過ごします。この旅は、彼ら親子が永久の別れとなるまえの、束の間のひとときだっただけに、なお一層光輝くような、かけがえのない時間だったことでしょう。

モーツァルト2世が描いた夢

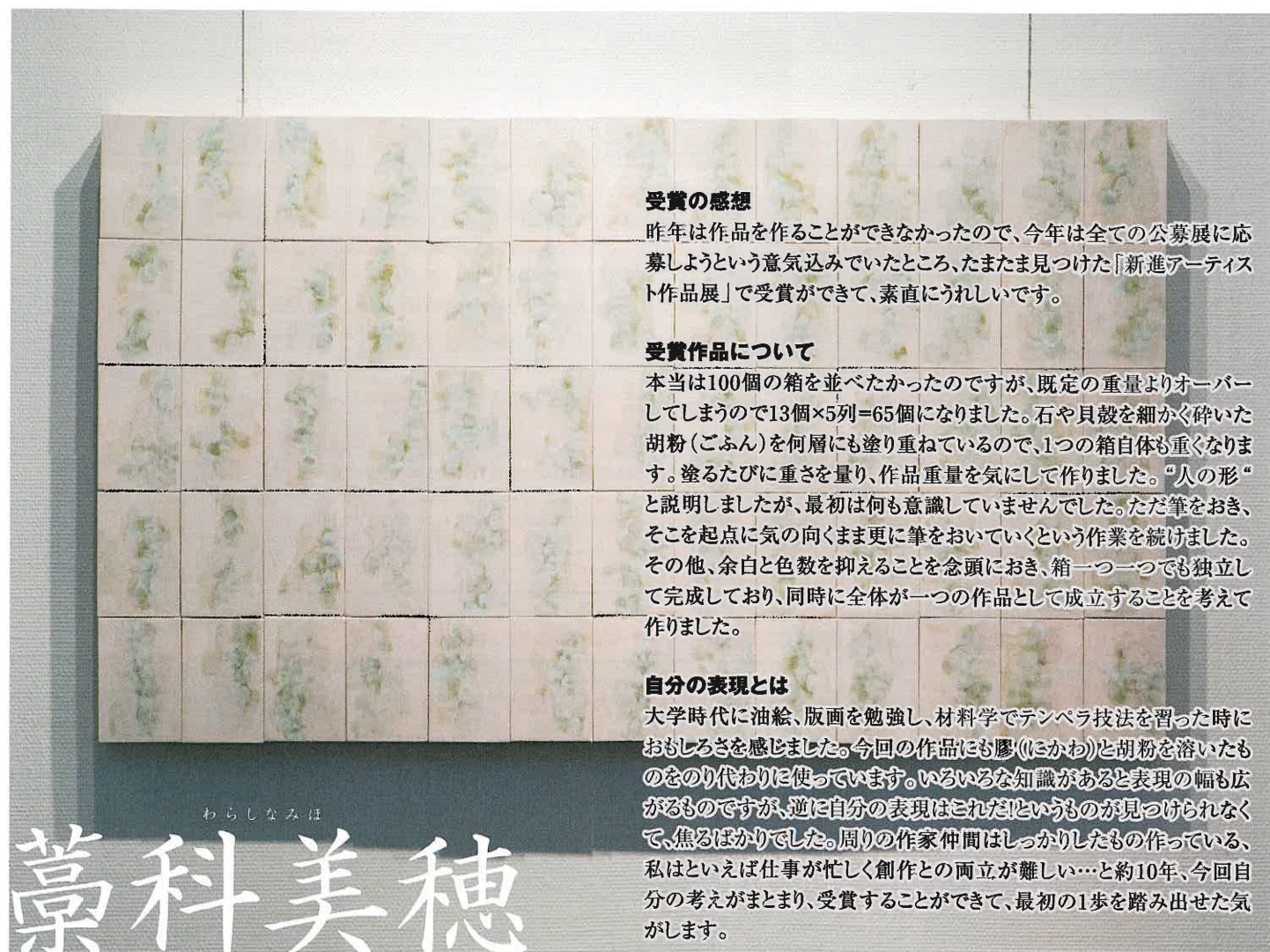
ショパン親子が出発したわずか数日後、同じホテルに、ひとりの作曲家が到着します。それが、この人物(写真6)です。もし、この肖像画だけで誰かがわかれば、あなたは相当のクラシック・マニアに間違いありません。彼の名は、フランツ・クサーヴァー・ヴォルフガング・モーツァルト。あまりにも有名な天才モーツァルトの末息子です。妻コンスタンツェは、6人の子供を出産しましたが、成人できたのは、彼と兄のカール・トーマスのふたりだけ。そして、父と同じ音楽の道に進んだのは、このフランツ・クサーヴァーただひとりでした。母コンスタンツェの希望もあり、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト2世として活動します。生まれた4ヶ月後に父が他界したために、父から直接教養を受けることはありませんでした。作曲家としては、ピアノ協奏曲やソロ・ピアノ作品があります。チャイニングで繊細な音楽ですが、天才である父の作品とはやはり比べようもなく、のちに作曲よりも演奏活動に専念します。1842年3月6日、ザルツブルクで、母コンスタンツェが死去。その半年後の9月4日、ザルツブルクのミハエル広場に、モーツァルト記念像が立てられ、その祝祭音楽会では、父の「ピアノ協奏曲第20番」短調を演奏しました。この広場は、その後「モーツァルト広場」と命名されます。それから2年後、53歳になった彼は、カルロヴィ・ヴァリで病のために亡くなり、この温泉街にひっそりと埋葬されました。結婚することもあり、偉大な父とつねに比較され、しかも実子ではないとの噂まであり、決して平穏な人生ではありませんでしたが、彼がモーツァルト2世として描いた夢は、いまも湯治客で賑わう美しいカルロヴィ・ヴァリの街が、静かに見守っていることでしょう。



(写真6) フランツ・クサーヴァー・モーツァルトの肖像

浦久俊彦

参考文献
Joannes de Carro, Essay on the mineral waters of Carlsbad, Prague, T. Haase, 1835
Correspondance de Frédéric Chopin, IL'Ascension 1831-1840, Bronislas Edouard Sydow, Richard Masse, Paris, 1981
Camille Bouriquet, Chopin, Editions du Seuil, 1954
セイヤー ベートーヴェンの生涯(上)(下) 大塚邦雄訳 音楽之友社 1971
決定版 ベートーヴェン(不滅の恋人)の探究 青木やよひ著 平凡社 2007
モーツァルト最後の年 ロビンズ・ランドン著 海老沢敦訳 中央公論新社 2001
西洋温泉事情 池内紀編著 鹿島出版会 1989



受賞の感想

去年は作品を作ることができなかったで、今年は全ての公募展に応募しようという意気込みでいたところ、たまたま見つけた「新進アーティスト作品展」で受賞ができて、素直にうれしいです。

受賞作品について

本当は100個の箱を並べたかったのですが、既定の重量よりオーバーしてしまうので13個×5列=65個になりました。石や貝殻を細かく砕いた胡粉(ごふん)を何層にも塗り重ねているので、1つの箱自体も重くなります。塗るたびに重さを量り、作品重量を気にして作りました。「人の形」と説明しましたが、最初は何も意識していませんでした。ただ筆をおき、そこを起点に気の向くまま更に筆をおいていくという作業を続けました。その他、余白と色数を抑えることを念頭におき、箱一つ一つでも独立して完成しており、同時に全体が一つの作品として成立することを考えて作りました。

自分の表現とは

大学時代に油絵、版画を勉強し、材料学でテンペラ技法を習った時におもしろさを感じました。今回の作品にも膠(にかわ)と胡粉を溶いたものをのり代わりに使っています。いろいろな知識があると表現の幅も広がるのですが、逆に自分の表現はこれだというのが見つけれなくて、焦るばかりでした。周りの作家仲間がしっかりしたもの作っている、私はといえば仕事が忙しく創作との両立が難しい...と約10年、今回自分の考えがまとまり、受賞することができて、最初の1歩を踏み出した気がします。

尊敬しています

短大の時の先生だった彫刻家の渡辺英司さんは、10年前からスタイルが変わらず、ぶれていないところがすごいと思います。だから作家として安定していると思います。自分を貫き、ぶれないところ、私は学ばべきですね。絵画を生涯ライフワークとしてやっていくとしたら、これだけは貫きたいというものを、一本持たなくてはならないと思います。

仕事と創作の両立はこれからも続きます

今の職場は雰囲気も良く、いい仲間にも恵まれているので、仕事が忙しく家に帰っても気持ちを切り替えて制作できます。来年の個展に向けて作品制作に励んでいきます。



新人音楽家による演奏会

～Rosé Nouveau Concert～



新人5名と伴奏者、ゲストの総勢9名の出演者が揃い、舞台を華やかに飾りました。

平成25年
3月7日(木)

開演19:00 ロゼシアター 小ホール

開館イベントから数えて21回、皆様に育てていただいた「MAYコンサート」は、音楽大学を卒業する地元出身の新人音楽家にスポットをあて、発表の場を提供し、これからの活動の支援と育成を目的としています。これまでに180名以上の地元出身の新人音楽家が門出の舞台に立ち、皆様から暖かな拍手をいただいて成長してまいりました。そして今回、その歴史を受け継ぎ、新たなスタートを切った「新人音楽家による演奏会」の記念すべき第1回目の様子をご報告いたします。

3月の卒業シーズンにぴったりのコンサートに向けて、5名の地元出身の音大生が名のりをあげて下さいました。ピアノの西中里帆さん、同じくピアノの米山純加さん、クラリネットの渡部翔子さん、ピアノの渡邊今日子さん、声楽の川口真貴子さんです。いずれも富士市で研鑽を積み、県内外の音楽大学に進まれたのち、今回このロゼシアターの舞台に立つことになりました。

公演の告知チラシは、これから大輪の華を咲かせてほしいという願いを込めて、若々しく、軽やかに華やかなものを完成させました。また、当日に配布するパンフレットは、演目の紹介文を出演者が自ら執筆するなど、自身の演奏への意気込み、そして皆様に楽しんでいただきたいという思いのこもったものになりました。

そして、第1回目を記念し、ゲストを迎えてのコンサートとなりました。ご出演いただいたのは、1995年「第4回 MAYコンサート」の卒業生でもあるフルートの川島祐子さん。そしてチェンバロの佐野糸保美さんです。お二人は現在も地元をはじめ、県内外で幅広く活躍されています。先輩音楽家として堂々と、素敵な演奏を披露してくださいました。

～来場者アンケートより～

- ・とてもすてきな演奏でした!またこのような演奏会を開いていただきたいです。(中学生 女子)
- ・とてもよい演奏を聞いて良かったです。(20代 男性)
- ・こんなにすてきな演奏会は久しぶりでした。
- ・楽しい時間をありがとうございました。(70代 女性)
- ・富士市にも若い芸術家が育ち、今後が楽しみです。
- ・もっともっと活躍してください。(70代 女性)
- ・若い人たちののはつらつとした演奏素晴らしかったです。(60代 女性)
- ・とてもすばらしくあっという間に時間がすぎました。
- ・新人さん、がんばれ。あたたかく、ハッピーになりました。(60代 女性)

新人たちのフレッシュな演奏、そして先輩たちの貫禄の演奏が響き渡り、客席からはとても温かく、大きな拍手をいただきました。

新人音楽家にとって、舞台はなにより成長の場となります。また同時に、地域にお住まいの皆様にも、気軽にクラシックコンサートにふれる場となっていただければ幸いです。そしてこれから音楽大学を目指す学生の皆様にも、将来この舞台に立っていただきたいと切に願います。地元出身の新人音楽家たちの活動へ、これからも暖かい声援を宜しくお願い致します。



公演を告知するチラシ



パンフレット

～プログラム～

- 西中里帆(ピアノ)
夜想曲第5番 変ロ長調 作品37/G.フォーレ
- 米山純加(ピアノ)
舟歌 嬰へ長調 作品60/F.ショパン
- 渡部翔子(クラリネット)
「椿姫」の旋律による演奏会用幻想曲/G.ヴェルディ 編曲:D.ロヴレーリョ
- 渡邊今日子(ピアノ)
「ピアノのために」I.前奏曲 II.サラバンド/C.D.ビュッシー
- 川口真貴子(メゾソプラノ)
「リュッケルト歌曲集」より
「若き日の歌」より「想い出」/G.マーラー
「ナクソス島のアリアドネ」より「お許しください!」/R.シュトラウス
- 川島祐子(フルート)
佐野糸保美(チェンバロ)
ハンブルグ・ソナタ長調/C.P.E.バッハ
一つ目巨人(チェンバロ・ソロ)/J.F.ラモール
フルート・ソナタ 変ホ長調 BWV 1031/J.S.バッハ
「管弦楽組曲 第2番」より「ボロネーズ」と「パディヌリ」/J.S.バッハ

New!



Information from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

小ホール改修工事予定に伴う貸出し中止についてのご案内



このたび、小ホールの「一層の充実を図る」ため、舞台設備関連（舞台機構・照明設備・音響設備）等の改修工事をいたします。工事期間中は、皆様方に大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

工事期間（予定）：平成26年4月1日（火）から平成26年7月31日（木）

◆改修工事期間中、小ホールはご利用できません。

工事内容：舞台部門（機構・照明・音響）ほか

なお、この期間中の小ホールのご利用申込みは、お受けできませんのでご承知くださいますようお願い申し上げます。



ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

●ロゼシアターのホームページまたはモバイルサイトからご予約いただけます。

ホームページからのご予約は、お座席選択が可能な公演があります。モバイルサイトからのご予約は、お座席は選択できません。

ホームページ <http://rose-theatre.jp>
モバイルサイト http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm

代金のお支払いとチケットのお引取りについて

代金のお支払いは、2種類あります。お引取り方法は、選択されたお支払い方法によって異なります。

◆クレジット・カードお支払い：窓口またはセブン・イレブン店頭にてお引取り
◆セブン・イレブンお支払い：セブン・イレブン店頭にてお引取り

●ロゼシアターで直接購入

（チケット取扱時間：休館日以外の9時～20時。ただし発売初日は10時～20時）
会館1階エレベーター横の会館事務所に、現金でご購入。

●プレイガイドで購入

ローソンチケット TEL.0570-084-004（各公演指定のLコードが必要です。）
※お電話でのご購入はこちらをご利用下さい。



ロゼフレンドシップのご案内

ロゼシアター主催公演のチケットをご購入・ご予約の際は「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

ロゼシアターのホームページや、窓口から登録いただけます。事前に登録していただきますと、購入手続きがスムーズに行えます。ご理解とご協力の程お願いいたします。

●重要なお知らせ

ロゼシアター主催公演のチケット販売につきまして、お客様にインターネット販売をより安全にご利用いただくために以下のような対応を致します。

※平成25年3月31日までに登録いただきましたお客様対象となります。

これまで登録いただいた会員情報は、平成25年3月31日を以って有効期間終了とし、平成25年4月より新しくフレンドシップ会員登録をしていただくこととなります。新しくフレンドシップ登録をする場合、登録IDはお客様ご自身で決めていただきます。

お客様には、ご迷惑をおかけしますが安全性向上のための対応となりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先TEL.0545-60-2500

※お問合せは9時～22時となります。



お知らせ

ロゼシアター2階「レストラン・ロゼ」は、平成25年6月30日を持ちまして閉店させていただきます。永年ご愛顧いただきまして誠にありがとうございました。なお、2階レストランは、リニューアルのため7月1日より一時休業とさせていただきます。休業中はご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

プレゼントクイズ

平成25年9月21日（土）開催
栗コーダーカルテット コンサート。
ゲスト出演は、富士宮市出身の「OAOOAA」。



「栗コーダーカルテット コンサート」
平成25年9月21日（土）開演 18:00
公演チケット 2組4名様

郵送先
〒418-0953 富士市藤原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ第84号」プレゼント係
※応募は一人一週間でさせていただきます。同一氏名で二週以上
ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

賞品はがき・私製はがきに、住所・氏名・年齢・性別・電話番号、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想をご記入のうえ、郵送にてお申し込みください。（平成25年8月20日必着）なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にさせていただきます。

ロゼシアター休館日のお知らせ 7/8日（月）・16日（火）・8/19日（月）～22日（木）、9/9日（月）

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報など



フラッシュ

バック

Flash Back

2013年2月・3月・4月 ロゼシアター主催事業をお客様のアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

2月1日 金 小ホール 青島広志の楽しくクラシック

- 曲について、とてもわかりやすく説明してくれて、おもしろく聴くことができました。 20代・女性
- 歌あり、色々な楽器ありで楽しく心地よくきかせていただきました。 50代・女性
- 青島先生のトークを聞いての肩のこらないコンサート 楽しく鑑賞させていただきました。 60代・男性



2月4日 月 中ホール 富良野GROUP「明日、悲別で」

- メッセージ性が強く、考えさせられる作品でした。 高校生・男性
- 大切なメッセージをいただきました。素晴らしい作品でした。 50代・女性
- 自分自身につけつけられる痛みに涙が止まりませんでした。 60代・女性



2月16日 土 大ホール

Every Little Thing
コンサート
ツアー2013



2月17日 日 大ホール

ふじ寄席 三枝改メ六代桂文枝襲名披露

- 落ちついた環境で見えて大変うれしかったです。 30代・女性
- 話芸の中でも落語は味があり、話し手の特徴が出て面白い。 50代・男性
- 日本の文化を是非若い人達にも伝承して欲しいです。 50代・女性



2月23日 土 会議室 和室

ロゼ富士山子ども将棋大会

- 非常に楽しそうに、また日頃ない緊張もあり良い経験ができたと思います。未就学児の親
- 大変良い大会だと思います。是非、継続開催を!! 2年生の親
- 子どもは他の子の将棋を指す姿を見ることで、いい勉強になったと思います。 4年生の親



3月2日 土

新進アーティスト作品展Vol.11
～Art Generation 2013～

- 普段学校では感じとれない作品があって勉強になった。 高校生・女性
- どの作品にも個性があり、とてもよかったです。 50代・女性
- メッセージをよむと、作者の気持ちがよくわかり、よかったです。 70代・女性



3月7日 木 小ホール

新人音楽家による演奏会 → THE STAGESIDE STORY (P.11)

3月15日 金 中ホール

美しき才媛たちが奏でるハーモニイVol.2「森麻季&仲道郁代」

- 森さんのすばらしいコロラトゥーラと仲道さんの人柄そのままのピアノの音色に酔いしました。 60代・女性
- 森さんと仲道さんの至高のデュオ、すばらしいにつきます。 60代・男性
- 曲についての解説をしていただき、より深く味わうことが出来ました。 70代・女性



予選 3月10日 日 小ホール

本選 3月22日 金 中ホール

ロゼピアノコンクール
2013

4月3日 水 中ホール

ロゼ子どもスプリングコンサート

- 娘のためにと参加しましたが、私自身も楽しめてよかったです。
- 生の演奏を子供に体感させることができ大変良かったです。
- 子どもが本物の音にふれられるいい機会ですし、大人もなかなかライブコンサートをききにいく機会もないので、いい気分転換になります。



4月23日 火 24日 水 中ホール

第71期名人戦
七番勝負
第2局 富士対局
大盤解説会



4月26日 金 大ホール

八神純子コンサートツアー2013

- ラジオで水色の雨を聞いてはれました。母に詳細を聞いたりして、数年前くらいからファンでした。 高校生・女性
- 初めて主人とのコンサート（銀婚式）を迎えて、とても良い思い出が出来ました。 40代・女性
- 変わらぬ美しい歌声に鳥肌がたちました。 50代・男性

